

河川を愛する市民会議 関連企画

# 現地見学会 参加者募集 (先着45名)

2019年11月25日(月) 9時30分～

いろいろなテーマの講演会です

バスで移動しますので当日 9:15 に石山東レグラウンド東側に集合

参加費 お一人500円 飲み物、昼食は各自準備下さい

## 琵琶湖の水草について (10:00～10:40)

場所：矢橋帰帆島 公益財団法人 淡海環境保全財団

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 北村元一氏

## 野洲川放水路通水40周年 (11:10～11:50)

場所：守山市中州公民館 国土交通省野洲川出張所長 小高茂治氏

☆2019年12月8日に、中州公民館となりの中州小学校のメタセコイアで

実施予定の「灯りでつなぐ、守山2019」ギネス世界記録

メッセージタグの5万枚のメッセージカード作成に協力します

昼食休憩・野菜などのお買い物 JA直売所 おうみんち

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス (13:20～15:50)

古代製鉄所跡 木瓜原(ぼけはら) 遺跡見学

オオバナミスキンバイの効果的除去手法の開発

マイクロプラスチックと私達の生活

場所：フリスムハウス P108教室

京都大学准教授 田中周平氏



主催 NPO法人瀬田川リバフシ隊

この催しは 公益財団 イオン環境財団 の助成を受けています

申込みの詳細については裏面を御覧下さい

## 田中准教授からコメントをいただいています

### 『マイクロプラスチックと私達の生活』

生態系のピラミッドを考えたとき、人は頂点に立っていると考えます。人は言葉や道具を使い、さまざまな文明を築いてきました。プラスチックは 1835 年にフランスで発明されて以来、さまざまな改良を加えて現在まで発展してきました。今では 100 種類を超えるプラスチックが存在するとされていて、私たちの身の回りの生活を支えてくれています。ところが、雨の日の翌日など、琵琶湖のほとりで散策していると、多くのプラスチックゴミを発見します。軽くて耐久性が強い結果、環境中に放出されたプラスチックはいたるところで残存します。一部は生物に取り込まれ、ふたたび、私たちに戻ってきているのかもしれませんが、また、私たちに直接影響がなければ、放置してもいいのでしょうか？人間も生態系の一部であると考えたときに支え合っている生物、植物に対して、優しく共存し合える社会を目指すことができると考えています。今回は、マイクロプラスチックに関する研究事例を分かりやすく紹介したいと思います。

問い合わせは 090-2049-7603 中谷まで (19時以降にお願いします)

### 申込み先

〒520-2141 大津市大江4-1-14 中谷恵剛 (なかに けいごう)

ハガキ、FAX、メール いずれかでの受付となります

FAX 077-545-6972 メール n-keigo@za.ztv.ne.jp

お名前	電話番号

※FAXの場合はご記入の上このまま送信して下さい